

## 検証保育・検証授業5 比嘉俊雄教諭（南風原町立津嘉山小学校）

去る2月5日（木）に津嘉山小学校で行われた、比嘉俊雄教諭の小学校4年算数の検証授業では、「小数のかけ算」の学習で、電子黒板に課題や考え方を提示し、小数×整数の計算の仕方とその意味を、説明の仕方を考えることで学ぶという授業でした。子どもが自分の解き方をペアで説明したり、みんなの前で発表したり、一生懸命課題に取り組んでいる姿が印象的でした。

指導講師の井口憲治教頭先生（大里南小学校教頭）からは、「中学校の「証明」につなげるために、小学校においては、理由を説明する力を育てることが求められていること。説明の仕方を学ぶ導入段階であった今日の授業をステップに、簡潔に説明できるようにすることが必要である。」等の指導助言をいただきました。

検証授業研究会の中では、「授業ごとに評価・検討をおこない授業改善を行なうことと何のための学習活動か、何を狙っているのかを考えて授業を計画することが大切である。チームティーチングにおいて、児童に力を付けさせるために2人がどう対応するか。」等についての意見が出ました。

玉那覇校長先生をはじめ、津嘉山小学校の先生方が熱心に授業参観なされていました。全校体制で比嘉先生の研究を支えてくださっていることが感じられる検証授業でした。

この検証授業をもって、後期教育研究員5人全員の検証保育・検証授業が終了しました。協力していただきました、教育委員会の皆様、所属校の園長先生、校長先生、職員の皆様、どうもありがとうございました。

今後は、3月26日の報告会に向けて、研究のまとめを行っていきます。

## 【研究テーマ】

数学的な思考力・表現力を高める学習指導の工夫  
～「小数のかけ算」における電子黒板の活用と説明する活動をとおして～

## 【授業仮説】

- ① 電子黒板を活用することで、課題を把握し、課題解決の考え方を全体で共有することができるであろう。
- ② 求め方の方法を説明する場を設定することで、計算の仕方とその理由を理解することができるであろう。

## 検証授業を終えて（比嘉俊雄）

検証授業では、多くの先生が授業参観に来ていたこともあって、子どもは少し緊張していたが、集中してがんばっていました。

私は、説明を簡潔に、ゆっくり話すことに気をつけて練習してきたのでそこはある程度できていたと思います。概ね指導案の時間配分で進めたのですが、最後のまとめで児童の感想を発表してもらおうとして、数分待たせたができなかったのが残念でした。

授業研究会では、様々な改善点が出ました。上原勝晴所長から「素直に、謙虚に受け入れ、まずはやってみようという気持ちが必要だ」と伺った事もあり、これから意識して頑張っていこうと思います。また、子ども達の成長に繋げていけるように取り組みたいと思います。

これで研究報告書にも取り組むことができます。周囲に相談しながら他の研究員といっしょに報告会に向けて研究のまとめに励みたいと思います。



写真1 検証授業の様子①



写真2 検証授業の様子②



写真3 検証授業研究会